

地域企業・産業資料デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する地域企業・産業資料のうち、印刷物および近代の文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い資料については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (5) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (6) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 27 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 15HP8021 の交付を受けて作成しています。

昭和13年下期(7~12月)出錠高表

秘

作業所	A		B ₁		B ₂	
	出錠高	出錠高	A:材料 増加	出錠高	A:材料 増加	
入帳	769,775	820,910	51,135	840,083	70,308	
轉西	137,855	143,975	6,120	143,975	6,120	
倉庫	115,500	123,750	8,250	123,750	8,250	
重二浦	155,233	158,562	3,329	158,562	3,329	
計	1,178,363	1,247,197	68,834	1,266,370	88,007	

A 現状の基準に比べ場合

B₁ 希望条件に叶へる場合

B₂ B₁ 条件, 但入帳, 不実供給に要=増加する場合

昭和13年(1~12月)出錠高表

作場所	期別	A	B ₁	B ₂
入帳	上	737,298	737,298	737,298
	下	767,775	820,910	840,083
轉西	上	119,681	119,681	119,681
	下	137,855	143,975	143,975
倉庫	上	257,536	263,656	263,656
	下	115,853	115,853	115,853
重二浦	上	115,500	123,750	123,750
	下	231,353	239,603	239,603
合計	上	142,243	142,243	142,243
	下	155,233	158,562	158,562
合計	上	297,476	300,805	300,805
	下	1,115,075	1,115,075	1,115,075
合計	上	1,178,363	1,247,197	1,266,370
	下	2,293,438	2,362,272	2,381,445

八幡製鐵所 十三年下期鐵鐵増産ニ対スル希望要項

(A) 現状、又、4月~7月迄、状態ニテ、小鉄量 769,775 吨

(A) 鉄石ニハ 務多シ

(B) 石灰ノ配給不均濟ニテ 特ニ配合炭不足ニレバ、コークス性不
同ナリ 13年4月~6月、平均配合炭：原料炭割合ハ 31:69
ナリキ

(C) 常備貯炭貯蔵ニ近キ状態ニレバ、不時、炭切レ止ニ支障
多シ

月別 小鉄量

7	104,100 吨 (実産)
8	104,195
9	110,350
10	131,900
11	133,650
12	133,960

計 142,455
(169,775) 括弧内ハ、7月分ヲ加算シタル也

(B) 増産希望要項

(1) コークス用炭、配給ヲ円滑ナシメ、石灰使用ニ意ヲ用ルコト
ニヨル出鉄増加 51,135 吨 生産高 820,910 吨
8月始メヨリ所期、如ク円滑ナル作業ヲナシ得レバ、Aノ場合
ヨリ 51,135 吨出鉄増加ヲ期待シ得 尤モ、増産ヲナス極
大要條件下ニシ、也

(a) 8~12月間ニ配合炭 22,879 吨 原料炭 28,824 吨ノ
増給ヲ必要トスルコト、数字ハ下記月別、追不足ヲ示シテ、

増配+1%)

(b) コークス進行規模が常=維持される為、=陸運・海運共=
在炭の配給、日々順調、増配に要す。

(c) 程々世事情=基、在炭配給上、不均等ヲ補正スル為、
=工場、常備貯炭トシ、配合炭 100,000 吨 原料炭 500,000 吨
ヲ必要トス 上、世常備貯炭ハ即時=セキ持ニナリ。

(a) (c) 増給中、在炭、合計ハ、配合炭 122,879 吨
原料炭 78,824 吨トナル。

(d) 配合炭、浦給ハ、北松浦郡方面、強粘結炭 密山炭、
開平炭=期待。原料炭、豫豊、粘結性炭=期待。

(e) 支那、印度、遠東諸石等 約 150,000 吨ヲ順調=増給スルヲ云。

月別出鉄予定、コークス使用量及在炭所要量次表、如シ。(單位吨)

月別	出鉄量	コークス 使用量 (雜用+合金)	コークス 用炭 (純)	粗炭内訳		既契約未納炭+月割		差引不足	
				配合炭	原料炭	配合炭	原料炭	配合炭	原料炭
7	(127,120)	(160,596)	(287,781)	(113,137)	(174,644)	(111,313)	(169,808)	(-1,829)	(-4,836)
8	133,010	154,926	278,469	109,877	168,592	111,313	169,808	+1,436	+1,216
9	130,050	151,767	273,785	108,497	165,288	"	"	+2,816	+4,520
10	146,960	169,805	309,753	122,631	185,122	"	"	-11,318	-15,314
11	141,600	164,115	297,543	118,609	178,934	"	"	-7,296	-9,126
12	142,170	164,938	299,758	119,830	179,928	"	"	-8,517	-10,120
計	693,790	805,551	1,457,308	579,444	877,864	556,565	849,040	-23,879	-28,824
	(820,910)	(966,147)	(1,745,087)	(692,581)	(1,052,508)	(667,878)	(1,018,848)	(-24,703)	(-33,660)

注、表示、出鉄量、鉄鉱石=関ル希望条件不可能の場合ハ
約 20,000 吨ヲ減産スルナリ。

(2) 11, 場合の「更」原料数 83,000 吨、即時増給の受
 け 2-172, 性質の向上を以て得る 8月~12月間
 = 更 = 19,173 吨、虫銹増加即生産高下期 = 於て
 840,083 吨、是迄得 但し 2, 毎年数ハ大、浦、崎江
 高島級、毛 = 河理配給、品質ト同等、也、又、外。
 此、場合現状の、不家、増加所要量合計ハ、次、如
 7 十也。

配合数	122,879 吨
原料数	78,824 + 83,000 = 161,624 吨

0000 0:39

神戸西製鐵所 13年下期 純鉄増産要項

13-8-3

(A) 現状ヲ基準トシタル場合、生産高 137,855 吨

(B) 増産希望要項

コ-クス、配合ヲ下記、如ク変更シタル場合、143,975 吨

即 現状ヨリ 6,120 吨、増加スルコト、ナル

(a) 夕張特粉 20,000 吨増加セシメタシ

(b) 大夕張 10,000 吨 "

(c) 関 平 10,000 吨 "

炭 灰 配 合 変 更 , 場 合 出 純 約 5% 増

	出 純 量	出 純 増	配 合 割 合				
			普通道内 45%	夕張特粉 10%	大夕張 10%	関 平 20%	半 炭 灰 15%
13年8月	24,335						
9	23,550						
10	24,335		13年8月 } 使用量 " 12月 }	19,000 吨	19,000 吨	37,400 吨	24,500 吨
11	23,550		" 使用増量 " 約	19,000	9,800	9,800	-
12	26,505			20,000	10,000	19,000	-
計	123,275	6,120 吨					
14年1月	28,985						
2月	28,700		13年8月 } 使用量 14年4月 }	33,000	33,000	65,000	46,000
3月	33,735		" 使用増	33,000	19,000	16,000	-
合計	212,695	19,895					

金石炭鐵所 13年下期 純鉄増産ニ對スル希望要項

13-8-3

(A) 現状ヲ基準トシタル場合、生産高 115,500 吨

即 前回決定シタルモ、123,950 吨ヨリ 84,500 吨ヲ減スルコト、ナル

(B) 増産希望要項

下記希望條件ガ期待サル、場合、生産高 123,750 吨

石炭 = 就テ

(a) 各炭種別ニ貯炭ヲ 5/6000 吨 程度迄モツコト (炭緑リ、円滑)

(b) 間平炭ハ、強粘結性ノモ、ミ 配給セラルベキコト

(c) 砂川炭、灰分ハ、11.5 程度 = 減少セシメルコト

(d) 間平炭、購入量ヲ 9,000 吨 増加スベキコト (14年3月中)

(e) 道炭、不足 40,000 吨ヲ 夕張特粉、大夕張洗炭ニテ補フコト

鉄鑛石 = 就テ

(f) 金石鑛石、出鑛量ヲ昭和十四年四月迄 = 現在豫定高ヨリ 50,000 吨 増加スルコト

(g) 昭和十四年五月以降、現在程度ヨリ 月平均 20,000 吨 宛 増掘スル事

出銑量 豫定

(A) 現状、 π 、 π 原料不良、場合

年 月	No. 8 B.F.	No. 9 B.F.	No. 10 B.F.	計
13. 7	9,820 吨	9,630 吨	- 吨	19,500 吨
8	9,600	9,610	-	19,210
9	9,600	8,990	-	18,590
10	9,600	9,610	-	19,210
11	9,600	8,990	-	18,590
12	9,600	-	10,800	20,400
計	57,820	40,880	10,800	115,500

(実産)

(B) 原料が改善セラル場合

年 月	No. 8 B.F.	No. 9 B.F.	No. 10 B.F.	計
13. 7	9,820	9,680	-	19,500
8	10,650	9,920	-	20,570
9	10,650	9,280	-	19,930
10	10,650	9,920	-	20,570
11	10,650	9,280	-	19,930
12	10,650	-	12,600	23,250
計	63,070	48,080	12,600	123,750

(実産)

銑鉄増産ニ對スル 石炭需給計算

(A) 現状、ノマテ原料不良、場合

	出 銑	所要ノマテ	所要装入炭	内 関 平	釋 道 炭
13年 8-12月	96,000	95,580	152,930	35 53,530	65 99,400
14年 1-3月	99,160	98,480	125,590	37 46,460	63 99,110
4月	29,600	29,350	42,960	37 16,190	63 27,590
計				116,180	
5月	34,200	33,820	54,110	37	63 34,090
合計					240,190

備考 7月末契約炭 (14年4月末日迄、契約)

砂川上	68,500
多張特	98,600
大ノ張	57,500
計	225,600
関 平	125,400

現状ノマテ 即道炭、不足約 14,000 吨

(B) 原料カ改善セラルル時、原料炭需給

	出 鏡	所要コ-ス	所要装入炭	内 平 價	道 炭		
				%	%		
13年8-12月	104,250	103,670	105,870	36	59.710	64	106,160
14年1-3月	91,095	90,170	144,210	38	54.820	62	89,450
4月	30,950	30,650	49,010	38	18.620	62	34,390
小計					133.150		
5月	37,000	36,560	58,500	38	22.230	62	36,270
計							264,270

第二浦製鐵所 13年下期能鉄増産希望要項

(A) 現状ヲ基準トシタル場合、生産高 155,233 吨

月別生産予定ハ第一表、如ク

(B) 増産希望要項

下記希望が充サル場合、生産高 158,562 吨 即現
状ノ場合ヨリ 3,329 吨、増加トナル。

月別生産予定ハ第二表、如ク。

(a) 本年度 7月以降 不炭受入予定ニ対シテ下付数量
増加セラル。

本溪湖炭 20,000 吨 (交互受入予定 炭量 75,000 吨 但各分50)
大夕張炭 8,000 " (" " 40,000 吨 ")
炭尻炭 8,000 " (" " 20,000 吨 ")

(b) 拓路炭 36,000 吨ヲ他ニ取向ケル。

第一表

本年度 下期 出鉄量 予定

昨年五月份、実績ニ修正カハ基準トセリ
下記七月份、出鉄量ハ亦日産ハ実績トシテ以降ハ予想也)

月	No. 1 B.F.		No. 2 B.F.		No. 3 B.F.		No. 3 B.F.	
別	日産	総量	日産	総量	日産	総量	日産	総量
7	281	8,711	183	5,673	313	9,703	777	24,087
8	281	8,713	220	6,807	320	9,921	821	25,441
9	284	8,520	252	7,560	322	9,660	858	25,740
10	284	8,804	252	7,812	322	9,982	858	26,598
11	300	9,000	255	7,650	328	9,840	883	26,490
12	295	9,145	250	7,750	322	9,982	867	26,877
計		52,893		43,252		59,088		155,233

第二表 昭和13年下期鐵鋼生産高豫定

月別	生産量	備考
7	24,087 _噸	
8	26,505	但之本溪湖 26,000 _噸
9	26,100	大夕張 8,000 _噸 } 舊鐵心
10	26,970	茨 凡 8,000 _噸
11	27,000	塩 路 36,000 _噸
12	27,900	他ニ推定する事
合計	158,562	